

## 市民との意見交換会・報告書

|  |                                |
|--|--------------------------------|
| 開催地区：北会津地区   | 開催日時：令和5年5月11日（木）18時30分～20時05分 |
| 担当班：第5班（出席議員）古川雄一、後藤守江、村澤 智、大山享子、松崎 新  |                                |
| 開催場所：ピカリンホール   |                                |
| 参加人数：男性 3名、女性 0名、合計 3名（うち班外議員 0名）（他自治体等傍聴者 0名）   |                                |
| 会場の雰囲気、次回に向けての反省点、申し送り事項など   |                                |
| <p>1. 意見交換の総括</p> <p>(1) 議会報告、市政全般についての総括</p> <p>① 2月定例会議について（広報議会5月1日号を利用して要点を絞って説明。）</p> <p>1. 三本松地区宅地整備事業旧第3工区整備事業において、ヒ素を含む残土を盛土として活用し高台を整備することが新たに示された。この整備事業については、昨年度アンケートを実施するなどしたが高台整備ありきのアンケートであり結果の報告がなく住民説明や意見の反映があったとは思えない。今後、事業を進めるにあたり地域住民への説明など丁寧な対応が必要とのご意見・要望をいただいた。</p> <p>2. 消防団の再編成について、大幅な団員数の削減が予定されている。それで、本当に地域の安全が守られるのか心配である。初期消火をはじめ、災害の対応や行方不明者の捜索など多岐に亘ることから厳しいとのご意見を頂いた。また、検討会で協議しているようだが、経過報告を含めて地元地区への説明が一切ない。地域住民への説明など丁寧な対応が必要とご意見をいただいた。</p> <p>② 所管事務調査報告について<br/>意見なし</p> <p>(2) 地区別テーマについての総括</p> <p>① 地区別テーマ<br/>子ども子育て支援の在り方について</p> <p>② テーマ設定の理由、背景<br/>国は異次元の少子化対策として、様々な政策を打ち出してきた。会津若松市においても、少子化対策に取り組みはじめたが、子育ての環境が大きく変わってきている現状において、実際に子育て世代や現場の声を聞くことで様々な課題が見えてくると考えたことからテーマとして設定した。</p> <p>③ 主な地域課題</p> <p>1. 小中学校の通学手段について、前回同様のご意見を頂いた。各地区の実態に合わせた見直しの要望があった。</p> <p>2. 通学路の危険箇所について改善を依頼された。地域には、水路に蓋が無かったり網が設置されていない場所が多いが、管理が大川土地改良区となっている。引き続き、市が管理する箇所で改善する場所の要望があれば対応が必要。</p> |                                |

○ 議会報告(定例会など)、市政全般(市政・議会運営に関する意見交換)について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの  
 ※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項  
 (含む情報提供) ③後日回答

| 市民の発言内容  | 議会(議員)の発言内容  | 処理状況 |    |                                     | ※項目<br>キーワード |
|--|--|------|----|-------------------------------------|--------------|
|  |  | 分類   | 番号 | 対応                                  |              |
|  | 事前に事務局へ提出いただいた質問である三本松地区宅地整備事業特別会計予算の概要について、広報議会5月1日号等を利用して、今後の事業内容について丁寧な地域住民への説明と意見聴取に取り組むよう要望的意見などについて説明した。 |      |    |                                     |              |
|  | 北会津村時代から会津若松市と合併以降の現在までの三本松、水季の里の取り組み状況について説明した。   |      |    |                                     |              |
| 詳しい過去の経過について、ここで初めて聞いた。今までの経過について、住民みんなに分かるように説明してもらいたい。まずはそこからではないか。詳しく分かっている人がどれだけいるのか。  | 今後、地元への説明会を開催して事業を進めるようになるので、ぜひ参加していただきたい。また、当局には合併以前からの詳しい経過について丁寧な説明をするよう伝える。                                | ○    | ③  | 後日担当課に確認し、事後処理する。<br>(事後処理報告書P7に記載) | 水季の里         |
| 広報議会にある要望的意見について、形だけではなくしっかりと対応してもらいたい。その理由として、住民に対してアンケートを行ったが高台利用の盛土ありきのアンケートだったと感じた。その他の質問で書いた事に対して何も音沙汰がない。                              | (次ページのご意見とまとめて回答)  | ○    | ②  |                                     | 水季の里         |
| 高台にして避難する場所というが、周囲が浸水している状況になった場合に本当に避難できるような頑丈なものになるのか心配である。何もしないで残しておくことが問題でこうなったのであればやらない方がよい。三本松地区では、公園の脇に墓地を作った。そういう利用の検討があってもいいのではないか。 |  | ○    | ②  |                                     | 水季の里         |

○ 議会報告(定例会など)、市政全般(市政・議会運営に関する意見交換)について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの  
 ※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項  
 (含む情報提供) ③後日回答

| 市民の発言内容  | 議会(議員)の発言内容  | 処理状況 |    |    | ※項目<br>キーワード |
|--|--|------|----|----|--------------|
|  |  | 分類   | 番号 | 対応 |              |
| 令和6年度に着工させるなど、急いでいる感がある。ここまで時間がかかっているのだから、急ぐ必要はない。もう一度、ゼロベースでアンケートを取ることから始めてみてはどうか。コロナ禍もあけたので、実際に話し合う機会を設けてみてはどうか。   | 様々ご意見をいただいた。まとめると、今後は計画性を持って、時間をかけてでも取り組んでもらうよう伝える。住民の声をどの様に反映するのか丁寧な対応が必要と考える。議会としても、どのようなアンケートを実施したのか結果も含めて調査し、高台ありきではなく、もう少し高台以外の選択肢はないのか聞き取りを行う。今回は、まだ計画の段階なので、変更も考えられるのでご理解をいただきたい。 | ○    | ②  |    | 水季の里         |
| 誤解があるようなので発言させていただく。高台を要望したのは、水季の里と三本松の町内会からとなっている。地区の役員を中心に話し合い、水防施設として高台はどうかとなった。高台について、5、6年前ぐらいから都市計画課へ口頭で伝えていた。高台だけではなく、水害時に避難所となるような水防避難会館を地域が管理しながら活用してはどうかと話してある。決して、都市計画課が進めている高台の整備が独り歩きしているものではないという事をご理解いただきたい。第一歩として、高台の整備が進んできた。内容については、まだまだ検討が必要なものとなっているが、いつまでも反対では前進しない。10数年そのままできた。洪水はいつ来るか分からない。急いでやらなければならないと考えている。 | 誤解があったことを確認した。もう少し丁寧に執行機関と住民が話し合いをして進めていけばいいのではと考える。   | ○    | ②  |    | 水季の里         |
| 町内の全住民に伝わっていなかったという事実はあると思う。説明不足だったのではないか。   | コロナ禍もあり、住民が集まって説明する機会が作れなかった要因もあると考える。   | ○    | ②  |    | 水季の里         |

○ 議会報告(定例会など)、市政全般(市政・議会運営に関する意見交換)について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの  
 ※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項  
 (含む情報提供) ③後日回答

| 市民の発言内容  | 議会(議員)の発言内容  | 処理状況 |    |                                     | ※項目<br>キーワード |
|--|--|------|----|-------------------------------------|--------------|
|  |  | 分類   | 番号 | 対応                                  |              |
| 今までどのような検討がされてきたのか。  | 色々と検討してきたが、撤去する方法を考えて来た。撤去費用を軽減するために、道路路盤への活用などあったが実現しなかった。そこから、現在の高台の整備と変わってきたことになる。そのやり取りが議会も分からなかったし、地域住民も知らなかったということで今回のようなやり取りが起きてしまった。 | ○    | ①  |                                     | 水季の里         |
| もう少し密に連携して説明をもらいながらコミュニケーションを取りながら進めてもらいたい。                | ご意見として伺う。  | ○    | ②  |                                     | 水季の里         |
| 町内会長に対してアンケートの結果が届いているが、結果があるだけで、住民意見を反映して今後の整備方法などの提案がない。 | 旧第3工区の課題、問題解決に向けた計画は、決まっていない。担当者は、基本設計、基本計画と事業の裏付けとなる予算が決まって初めて整備内容について説明できるようになる。職員は、事前にこうするとは言えない立場にあることをご理解いただきたい。                        | ○    | ①  |                                     | 水季の里         |
| 毎年1回の水質調査の結果について、住民が確認し考える機会となるように地区内での回覧など対応してもらいたい。      | ご意見として伺う。当局へ伝える。   | ○    | ③  | 後日担当課に確認し、事後処理する。<br>(事後処理報告書P8に記載) | 水季の里         |

○ 議会報告(定例会など)、市政全般(市政・議会運営に関する意見交換)について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの  
 ※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

| 市民の発言内容   | 議会(議員)の発言内容  | 処理状況 |    |    | ※項目<br>キーワード |
|---|--|------|----|----|--------------|
|   |  | 分類   | 番号 | 対応 |              |
| 消防団の再編について、令和6年の実施に向けて取り組んでいくと説明があった。約6割くらいに集約し削減する計画は、北会津で約100人いる団員を39人まで減らしたいとある。理由として、消防団の成り手がいない。欠員が出ている。少なくすれば確保できるのでないかという説明があったが、背景には予算の確保が難しくなっているのではと考えている。本当に、火災だけでなく万が一の災害があった時にこの人数で対応できるのか心配である。 | 広域消防に火災の状況を聞くと、昔の建物から構造が変わり、火災になりにくい建物が増えており、火災報知器の普及も進んできた。また、道路事情も良くなっており、現場に到着する時間も短縮された。一方で、湊地区においては、磐梯町から常備消防が駆け付けるが時間がかかることから、地元で小型ポンプ車を配備して、消防団がない場合はOBが対応する体制となっている。財政について、人の命にかかわる所にはしっかり付けていると認識している。そこで問題となっているのは、合併後の消防団組織の見直しである。消防団からも以前から要望が出ていることから今回の見直しになったと考える。 | ○    | ①  |    | 防災・安全        |
| 一昨年から検討会が始まったようだが、やっと地元で説明があったのが、令和4年度末に情報が来た。地元の消防団にも一切話がなかった。いきなり、上から目線で提案されても納得できるものではない。そんな大事なことを簡単に進めてもらっては困る。   | 文教厚生委員会の所管となるが、団員を減らすということは初めて聞いた。逆に団員が減っているので商工会議所や各企業にお願いして団員を確保する話は聞いている。消防団と地域が連携して地域防災に取り組んでいくと認識している。  | ○    | ①  |    | 防災・安全        |
| 令和6年には見直しとなる。もう少し途中経過をオープンにして説明するなど地域と連携をして、以前から指摘されている地形や地域の状況を分かっている地元の意見を反映するなど丁寧な対応をお願いしたい。   | 一番大事なことは、団員や地域の方々がこれで安心だと思ってもらうことと考える。議会としても、初期消火はもちろん他にも様々な対応があると認識している。各関係者の話し合いを見守ることとなるが、不十分な所があれば問題提起をするなどきちんと対応していく。   | ○    | ②  |    | 防災・安全        |

○ 地区別テーマでの意見交換について → 子ども子育て支援の在り方について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの  
 ※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

| 市民の発言内容  | 議会（議員）の発言内容  | 処理状況 |    |    |
|--|--|------|----|----|
|  |  | 分類   | 番号 | 対応 |
|  | 小中学校の通学手段（バス）について、合併前からの経過と現在の取り組み状況について説明した。                |      |    |    |
| 現状では、地区によって通学環境が大きく違っている。地区内でバス通学が可能な所とそうでない所があるなど地域の実情にあっていない。また、冬場の吹きさらしなど通学が大変だと認識している。過去や距離にこだわることなく見直してもらいたい。 | 議会も現状の課題について認識している。執行機関も地域に応えたいと思っている。もう少し時間が掛かるが進めていくことになる。 | ○    | ②  |    |
| 特に通学路の危険箇所についての改善をお願いしたい。水路に蓋が無かったり、網が設置されていない場所が多い。管理が大川土地改良区の場所は3か所対応してもらったが、設置前に子どもが水路に落ちる事例が本当に発生してしまった。       | 北会津は水路網がいち早く進んだ所と認識している。水量が多いことから非常に危険な場所があれば情報提供願いたい。       | ○    | ②  |    |

## 市民との意見交換会・事後処理報告書

## 北会津 地区

| 件名  | 処理（対応）内容   | 備考 |
|---|--|----|
| <p>1. 三本松地区宅地整備事業<br/>旧第3工区設計調査事業の経過説明について (P2)</p> | <p><b>【市民からの要望・質問】</b><br/>           詳しい過去の経過について、ここで初めて聞いた。今までの経過について、住民みんなに分かるように説明してもらいたい。まずはそこからではないか。詳しく分かっている人がどれだけいるのか。</p> <p><b>【事後処理結果】</b><br/>           ○今後の対応について（都市計画課の回答）<br/>           本年度において、三本松地区(旧第3工区)の土地利用について検討するため、まずは地盤の強度や周辺環境への影響について調べるための調査を実施します。その調査結果を基にどのような土地利用が可能か整理した上で今後の土地利用について検討してまいります。<br/>           今後の土地利用につきましては、住民の皆さんの意向に沿った整備となるよう検討することが重要であると考えておりますことから、検討の過程において住民説明会を開催し、これまでの経過を含め説明し、住民の皆さんのご意見をいただきながら進めてまいります。</p> <p>○議会としての今後の対応<br/>           今後の設計調査業務の進捗状況について、地区住民の意向を反映したものとなるよう建設委員会が中心となって確認していく。</p> |    |

## 市民との意見交換会・事後処理報告書

## 北会津 地区

| 件名   | 処理（対応）内容  | 備考 |
|--|---|----|
| <p>2. 三本松地区宅地整備事業<br/>にかかる対応について<br/>(P 4)</p> | <p><b>【市民からの要望・質問】</b><br/>毎年1回の水質調査の結果について、住民が確認し考える機会となるように地区内での回覧など対応してもらいたい。</p> <p><b>【事後処理結果】</b><br/>○現在の取組状況と今後の対応について（都市計画課の回答）<br/>定期的に実施しております水質調査は、観測井戸1か所、個人使用の井戸11か所で行っております。これまで、井戸の使用者に対しましては、結果をお知らせしております。住民の皆さんへの水質調査結果の公表につきましては、今後の説明会において観測井戸の調査結果について報告いたします。<br/>○議会としての今後の対応<br/>定期的な水質調査の結果について、建設委員会で継続して確認していく。</p> |    |